

ソーラー大作戦（一般会計・石油特会）

4,315百万円（2,800百万円）

地球環境局地球温暖化対策課

## 1. 事業の概要

世界に冠たる太陽光発電大国として、我が国が世界をリードする太陽光発電技術を生かしたCO<sub>2</sub>削減対策を、家庭や地域で意味ある規模で実現するため、太陽光発電に係る新たなビジネスモデルの提示となる事業の実施を始め、あらゆる施策を大々的に展開する。

## 2. 事業計画

具体的施策として次の事業を主要な柱として展開する。

- (1) 点在する潜在需要を掘り起こし、住宅に集団的に導入  
ソーラー・マイレージクラブ事業（新規）

地域協議会を通じ太陽光発電設備を集団的に導入した住宅が大幅なCO<sub>2</sub>排出削減を達成した場合に削減量に応じた助成（設置後3ヶ年）を行うことにより、地域ぐるみの太陽光発電の導入を促進する。

- (2) 大規模宅地開発の機会を捉えて、面的に住宅等導入  
街区まるごとCO<sub>2</sub>20%削減事業（新規）

大規模宅地開発の機会をとらえて、太陽光発電等を導入した省CO<sub>2</sub>住宅を街区全体に整備した「CO<sub>2</sub>削減の街」を実現し、新たな宅地開発モデルを構築する。

- (3) 地域で大規模・集中導入し、電力を共同利用するビジネスモデルを構築

メガワットソーラー共同利用モデル事業（新規）

地域で1MW級の大規模太陽光発電の施設を導入し、電力を地域の需要家が共同利用するビジネスモデルを構築する。

再生可能エネルギー高度導入モデル事業

太陽光発電を含む再生可能エネルギーを組み合わせるモデルとなるような高度なCO<sub>2</sub>削減を地域全体で導入する。

( 4 ) 自治体・学校への導入

地方公共団体率先対策導入事業

地方公共団体の施設において太陽光発電設備等の率先導入を図る。

学校エコ改修事業（拡充）

全国モデルとして小・中学校等において太陽光発電設備の導入を含むエコ改修事業を行い、校区ぐるみの環境教育を推進する。

( 5 ) 太陽光発電の信用力・ブランド力を強化し、国民の支持を普遍化

国民運動を通じた普及啓発

ソーラー・ヘルプデスク

太陽光発電の導入について、気軽に相談できる窓口を設け、安心して導入できる体制を整備する。

3 . 施策の効果

これまでの個々の設備補助を一步進めて、CO<sub>2</sub>の削減量に応じた助成とし、さらに地域ぐるみの面的な普及を行うことにより、CO<sub>2</sub>削減を顕在化。

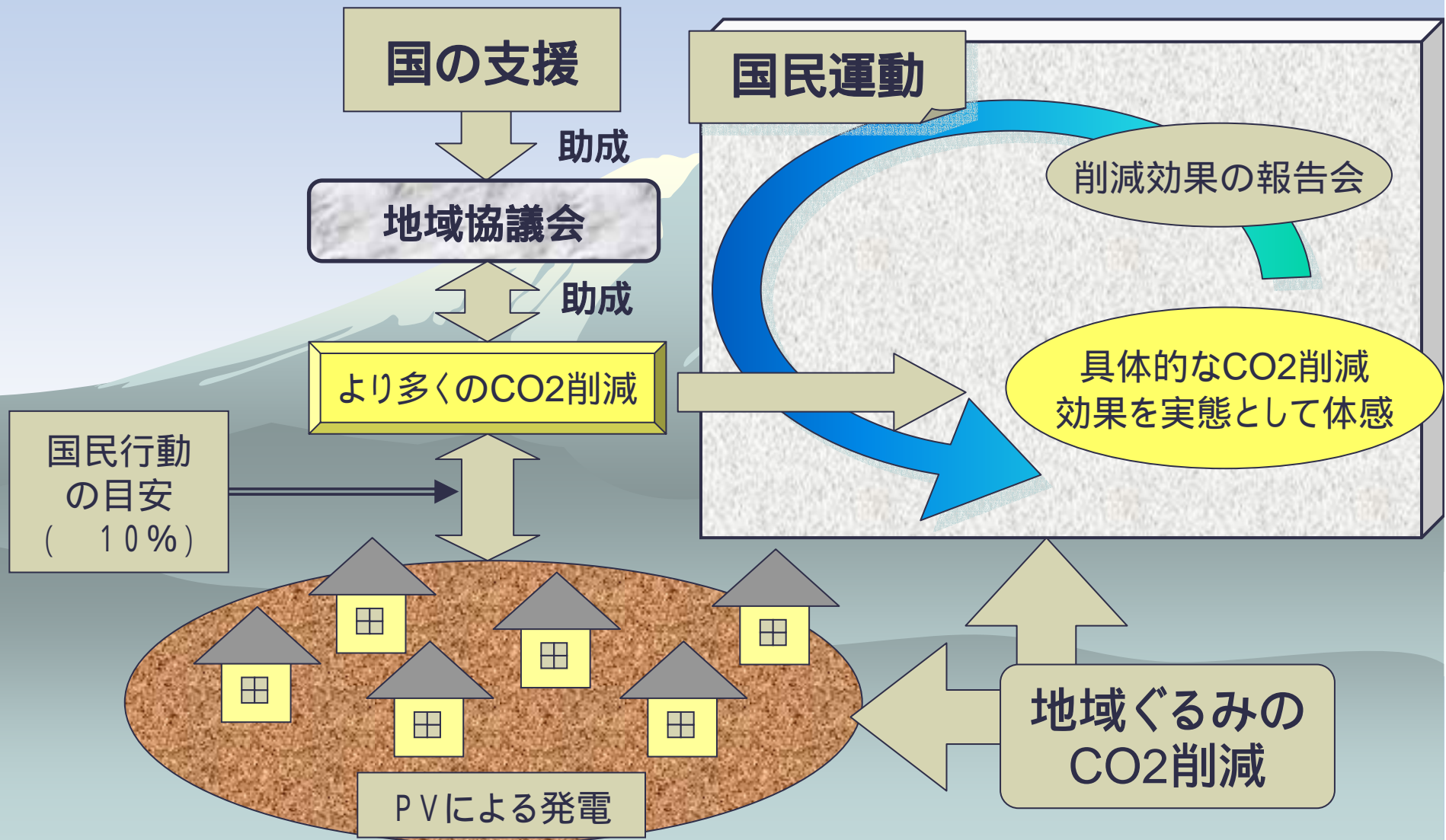
太陽光発電の大規模・集中導入とその共同利用を組み合わせた新たなビジネスモデルの創出。

2010年に目標達成計画で導入を予定する482万kWの太陽光発電を確実なものとする。

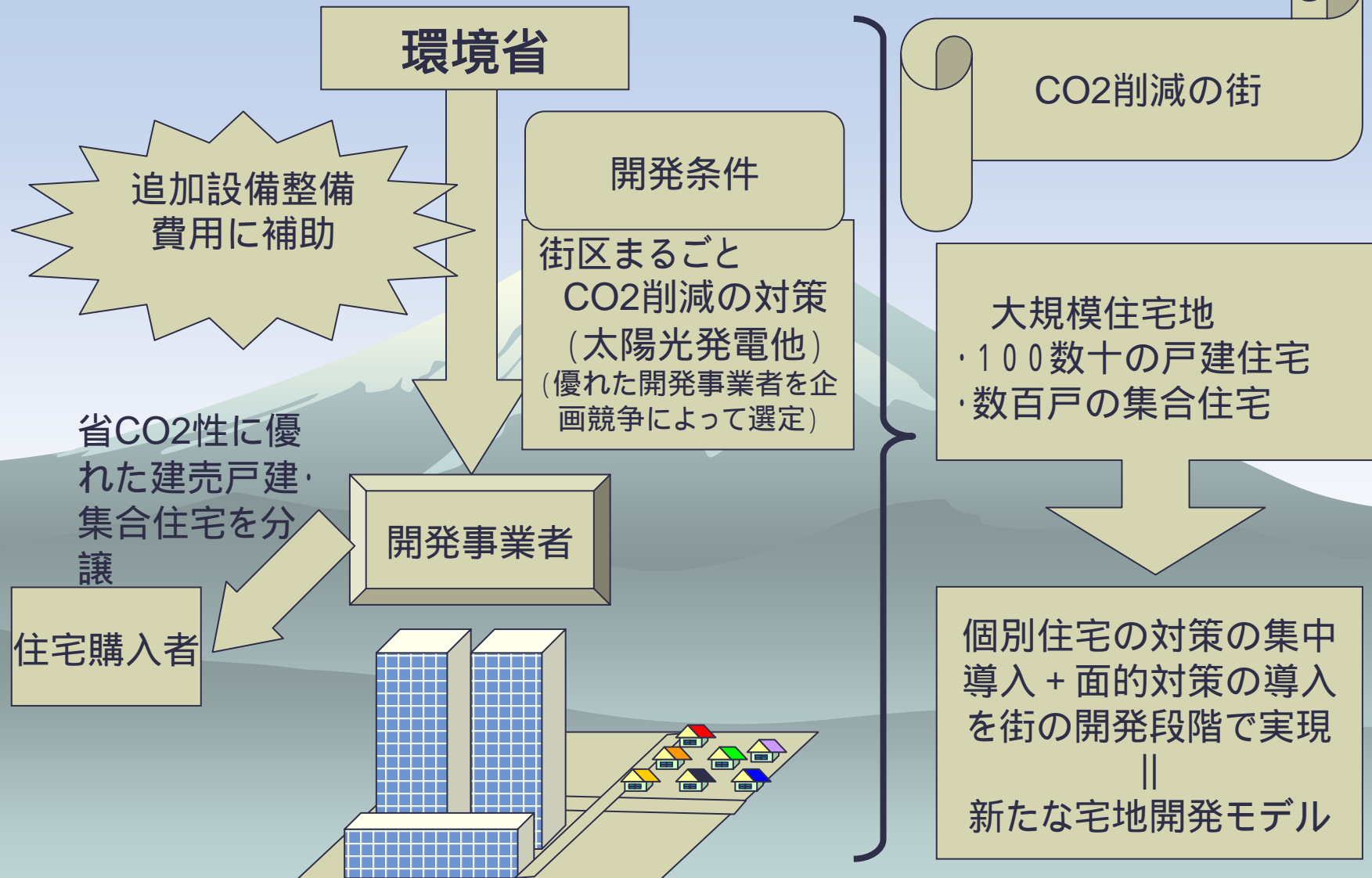
# ソーラー大作戦5本の柱



# PVシステムを核とした CO2削減対策の面的推進 (ソーラー・マイレージクラブ事業)



# CO<sub>2</sub> 20%削減事業



# メガワットソーラー共同利用推進事業

